

2022年度 SYLLABUS【博士前期課程】

授業科目名：ファイナンス特論	
担当教員名：國方 明	
授業科目概要：本科目では、ファイナンスにかかわる経済理論を教える。ファイナンスは、インベストメント(証券等投資)と、コーポレート・ファイナンス(企業金融)の2つに分かれる。本科目では両者を教える。また、インベストメントを重点的に教える予定であるが、履修者の要望によってコーポレート・ファイナンスの比重を高める可能性が有る。	
履修上の留意事項： あらかじめ、ミクロ経済学特論I、ミクロ経済学特論II、統計学特論および金融経済学特論の全ての単位を取得していることを強く望む。もし、これら科目の単位を取得していなければ、各科目のシラバスで指定されている教科書などを使って自習してほしい。 トピックによって、ある程度の数学や統計学の知識を使う。数学などに苦手意識のある人は、履修登録の前に、本学図書館で教科書や参考書(特に手嶋(2011))を一読して、履修の可否を判断してほしい。	
教科書	
書名：『ファイナンス論 入門から応用まで』 著者：大村 敬一 出版社：有斐閣 出版年：2010年 新品購入可能、本学図書館に所蔵済み 全21章である。そのうち、第6章～第13章がインベストメントを、第14章～第18章がコーポレート・ファイナンスを、それぞれ扱っている。また、第19章～第21章で、マーケット・マイクロストラクチャーや行動ファイナンスなど近年のトピックスを紹介している。このように、ファイナンスの全体像を概観するのに向いた本である。	
参考書	
書名：『基本から本格的に学ぶ人のためのファイナンス入門』 著者：手嶋 宣之 出版社：ダイヤモンド社 出版年：2011年 新品購入可能、本学図書館に所蔵済み。	書名：『証券論』 著者／編者：大村敬一・俊野雅司 出版社：有斐閣 出版年：2014年 新品購入可能、本学図書館に所蔵済み。
書名：『入門・証券投資論』 著者／編者：岸本直樹・池田昌幸 出版社：有斐閣 出版年：2019年 新品購入可能、本学図書館に所蔵済み。	書名：『ファイナンス』 著者／編者：井上光太郎・高橋大志・池田直史 出版社：中央経済社 出版年：2020年 新品購入可能、本学図書館に所蔵済み。

評価方法及び判定基準： 次の(ア)および(イ)を総合して、100点満点で各履修者を評価する。試験は実施しない。 (ア) 授業における活動や貢献 (イ) 課題1回 上記(ア)および(イ)の内容及び配点を、第1回授業内で伝える。 A評価：80点以上、B評価：70点～79点、C評価：60点～69点、F評価：59点以下
授業目標及び進め方： 目標： ファイナンスという学問の関心事を理解する。そして、ファイナンスが過度に技術的な学問であるという誤解を払拭する。 進め方：原則として、対面で実施する。教科書を輪読するか、國方が講義するかのどちらかである。履修者が多ければ輪読を、履修者が少なければ講義を、それぞれ採用したい。 また、学期中に一度、課題を実施する。課題内容は次の予定である：國方が、ファイナンスにかかわる学術論文またはレポートを数本配布する。各履修者は、その学術論文等の中から1本を選び、その1本を要約する。詳細を授業内で伝える。

◆ 授業進行計画（＊ 受講生の関心分野や新型コロナウイルス感染拡大状況などによって、計画を変更する可能性がある。）

第1回 ～ 第3回	テーマ：現代ファイナンスの問題意識 内 容：ファイナンスの主要な関心事である、リスクとその管理を理解する。 教科書第1章と第2章
第4回	テーマ：ファイナンスの歴史 内 容：ファイナンス理論を構成する主要な学説を展望する。 教科書第4章
第5回	テーマ：確実性下での基礎理論 内 容：ファイナンス理論は不確実性下での意思決定に注目する。その前段階として、不確実性のない状況での経済理論を学ぶ。 教科書第5章
第6回 ～ 第8回	テーマ：インベストメント1 平均・分散アプローチ 内 容：不確実性下でのインベストメントにかかわる基礎的理論を学ぶ。 教科書第6章と第7章
第9回 ～ 第11回	テーマ：インベストメント2 CAPMとパフォーマンス評価 内 容：現代ファイナンス理論が生み出した最大の成果と言っても過言でない、CAPMを理解する。 教科書第8章と第9章
第12回 第13回	テーマ：インベストメント3 デリバティブズの理論 内 容：デリバティブズの機能や価格付けにかかわる理論を学ぶ。 教科書第11章と第12章
第14回 第15回	テーマ：コーポレート・ファイナンス 内 容：MM命題を中心に、コーポレート・ファイナンスの基礎部分を学ぶ。 教科書第14章と第15章